形競技大会（録画審査方式）　動画撮影要領

Ⅰ．動画撮影について

（１）服装

①柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。柔道衣は取受ともに白とする。インナーの着用は不可とし、女子の T シャツは白とする。

②所属を示すゼッケンのある柔道衣とする。高校時代の柔道衣などは着用しないこと。

③長髪の場合は、動作の妨げにならないように束ねること。

（２）撮影範囲・位置取り

①四間の間合い時に被写体が途切れることのないようにカメラの位置を調整すること。

※場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とする。演技中は、四間の間合い時(両者の距離約 7.3m)に被写体が途切れることがないように撮影すること。

※逆に四間を大幅に超える場合は、演技映像が小さくなってしまうので注意すること。

②カメラの位置は概ね立礼時の演技者の帯～頭（上半身）を目安に高さを設定し、必ず固定して撮影すること。固定する際、演技者とカメラが水平であるかを確認すること。

③映像には演技者以外の人や演技以外の音声が入らないようにすること。

④逆光など映像が鮮明に映らないような要素は極力排除すること。

⑤すべて正面側から撮影すること。

※カメラの方向に向かって「礼」を行う。

※取と受の位置を間違えないこと

図１　望ましい撮影範囲

図２　受理できない撮影範囲（演技者以外が入り込んでいる、映像が遠い）

（３）ラインテープ

①取と受が演技の始めと終わりに立礼又は坐礼をする位置を示すためにラインテープを貼ることとする。ラインテープは幅約 10 ㎝、長さ約 50 ㎝とする。

②テープ色は畳の色と同色を避けていれば問わない。

③中央（前後左右の中心）にテープを貼る。

④中央から一間半（約 275cm）空けた位置にテープの外側を合わせる。

⑤演技者はテープの外側につま先を合わせる（テープは踏まない）

⑥チームにより試合場や畳の大きさが異なる場合があるため、畳の枠で合わせず、中心からの距離でテープを貼ることとする。

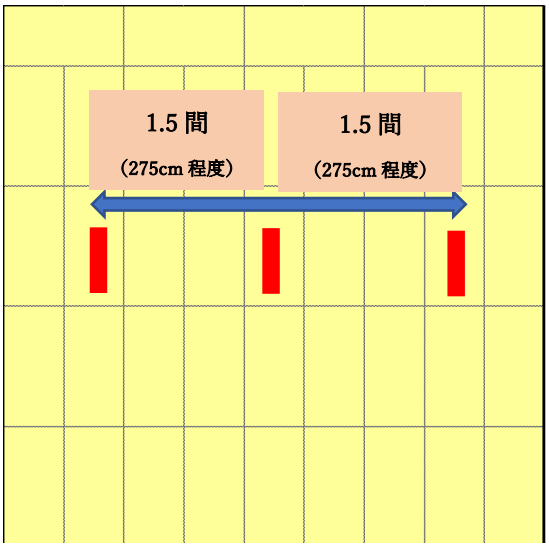

図３　ラインテープの位置

（４）動画

画質による審査への影響を排除するため、動画の規格を以下に定める。

①画素数（フレーム枠）は 1920×1080 であること。
※あまりにも画素数が少ない動画は映像が不鮮明であるため、受理できない。

②動画のフレームレート（fps）は概ね「30」であること

③①②を満たしていれば、録画する機器は指定しない。

④撮影者がおらず、セルフでの撮影となる場合は、演技前後の部分が入ってもかまわない。

⑤動画は未編集のものとする。但し、「演技前の『場外での受取両方の立礼』」から「演技後の『場外での受取両方の立礼』」以外は切り取ってもかまわない。

⑥画素数やフレームレートの確認方法は端末で異なるため、取扱説明書や web で確認すること。

【動画の画質確認方法】

【windows】

①動画ファイルを右クリックし、プロパティを開く

②「詳細」をクリックする

③「フレーム幅」「フレーム高」「フレーム率」を確認する

【mac】

①動画ファイルを QuickTime で開く

②メニューから「ウィンドウ」→「ムービーのインスペクタを表示」をクリックする

③「フォーマット」「FPS」を確認する

２．参考動画

2023 年度全日本学生柔道形競技大会（第２回）※各種目優勝ペア。

投の形：https://youtu.be/8gfRX4VprjM?feature=shared

固の形：https://youtu.be/L64kfhTf858?feature=shared

柔の形：https://youtu.be/jQ1A9NC7aOY?feature=shared